

## 中島なおき(直樹) 略歴

- 昭和47年11月6日サラリーマンの父と洋裁職人の母より生誕
- 埼玉栄高校普通科 日本福祉教育専門学校  
社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業
- 児童福祉施設職員、社会福祉協議会職員を経て
- 平成18年若手政治家養成塾入塾  
わが子が生まれたことにより人生の価値観が一変。世の中の仕組みに疑問を抱くようになり、若手政治家養成塾に入塾。埼玉県内外から集まった若手地方議員と熱い想いの塾生たちとの出会いにより、持続可能な世の中の構築、共生社会の実現のために自ら政治の世界に飛び込むことを決意。
- 平成19年市議会議員選挙に初当選  
1,473人のご支持をいただきました。
- 平成23年市議会議員選挙2度目の当選  
2,131人のご支持をいただきました。
- 平成26年羽生市長選挙立候補  
現職の話題作り最優先の市政運営に異を唱え、正真正銘「地盤、看板、カバンなし」から立候補。8,899人のご支持をいただいても次点落選。
- 市長選挙後、知人の事業を手伝う傍ら、家族の生活を守るため就職活動に奔走。自動車部品製造会社に就職。企業の荒波に揉まれるとともに日本の雇用形態の荒廃を目の当たりにする。
- 平成27年再び市政改革に挑むため政治活動を再開
- NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事  
第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会会員  
日本税制改革協議会会員
- 趣味：家庭菜園 読書 ソロツーリング 写真
- 家族：保育士の妻 長女(13歳) 次女(10歳)
- 特技：ギター弾き語り(ミュージシャンを夢見た事も) バスケボール

本会議場で誰よりも積極的に  
発言することを心がけてきました!!

取り上げた一般質問

55項目

質問からの政策実現

17項目

議案に対する質疑

34回

討論登壇回数

9回

【その他の議会活動】

- ・市長提出議案に対する修正案提出
  - ・パープル羽生存続に関する請願紹介議員
  - ・いじめ撲滅決議案原文作成 等々...
- 長いものに巻かれる事なく、常に是々非々の姿勢で議会に臨んできました。

自らも襟を正す!  
自らやってこそ言える!!

## 「5つの約束」

- ① 議会レポートを作成、配布します。
- ② 議会、政治活動を公開します。
- ③ 政治活動費の使途を公開します。
- ④ 議会報告会を行います。
- ⑤ これまでどおり正々堂々発言します。

力を合わせて  
市政改革!

## 中島なおきの活動を支えてください!

中島は「地盤、看板、かばんなし」。正真正銘ゼロから政治活動を始めました。積極的に活動すればするほど支出が増えるということが現実であり、資金不足に悩まされています。少額で構いません。中島の「真面目でしがらみのない政治活動」を支えていただける健全なカンパ(献金)を募集しております。



<振り込み先> 武蔵野銀行 羽生支店【普通】1028912 中島なおきを応援する会

発行：中島なおきを応援する会【討議資料 NO.47】

事務所：〒348-0071 羽生市南羽生4-17-2 電話070-6488-4588 E-mail japanist0422@live.jp

中島なおき

検索



前・羽生市議会議員 無所属

# 中島なおき 42歳

## このままじゃダメだ。再始動! 市政改革



子供に  
ツケを  
まわさない!

未来に責任ある市政を!  
地に足をつけた政策を!  
もっと力強い改革を!

現状への危機感と未来を守る使命感で  
現職に挑んだ羽生市長選挙。  
皆さんに思いを届けることは出来ず  
結果は落選。

選挙後、民間企業に就職し、  
日々の生活に追われる中で  
あきらめかけた政治の道。



不退転の決意で臨んだ羽生市長選挙。  
多くの方に支えて頂きました。

しかし、再び私を奮い立たせてくれたのは  
羽生の今と将来を憂いた人々の声だった。

人々の生活を守りたい。  
公平、公正なまちを創りたい。  
子ども達に明るい未来を残したい。

このままじゃダメだ。  
市政改革、再始動!



初心を忘れることなく  
駅頭活動を続けています。



議場で正々堂々と発言!

## 羽生の未来のために。 「中島の3つの政策理念」

- ① **持続可能な世の中の構築を目指します。**  
財政、環境、社会構成など、その場しのぎではない中長期的な施策を追求する。そして、決して子供たちにツケをまわさない。
- ② **共生社会の実現を探究します。**  
人と人の絆を重視。地域や組織の力を最大限に活用。参加や協働による社会システムの構築を探究する。
- ③ **予算の有効化を追求します。**  
「予算の使い切り」という発想から、成果目的重視への発想転換を推進する。行政の生産性を高め、少ない予算で最大限の成果を目指す。



## 地方議員は名譽職ではない!

普段、注目されることは少ない地方議員。しかし去年はメディアで地方議員の不祥事が相次いで取り上げられました。そんなことから、現在地方議会、地方議員は大きく信頼を失っています。

しかし、こんな時だからこそ、私たちは地方議会、地方議員の役割と仕事について考え、見直さなければなりません。



## 議会で発言できない議員は No!

地方議員の任期は4年。地域や団体から推薦され立候補しているにもかかわらず、議場、委員会室ではほとんど発言をせず、ただ座っているだけ...

そのような議員がいるというのが地方議会の現実です。中島はこれまで全ての定例会で誰よりも積極的に発言することを心がけてきました。

## 説明責任を果たせない議員は No!

4年に1度、選挙の前になると、当たり障りないチラシを作り、4年に1度、選挙の前だけに姿を現す。普段はどこで何をしているか分からない...

そんな議員には迫り来る地方分権時代を担う事は絶対に出来ません。

## 地方議会不信、地方議員不信に向き合う。

メディアを通して全国に訴える!



地方自治専門誌に議会改革と若手議員育成について執筆しました。

TBS「総力報道 THE NEWS」に出演。メディアを通して議員年金制度の廃止を全国に訴えました。

説明責任。そして政治に信頼を!

説明責任を果たすため配布した議会レポートは8年間で38万枚以上(H27年2月現在47号)。議会報告会も積極的開催。インターネットを活用しての情報発信にも努めてきました。



議会報告会を積極的に開催。ブログ「ゼロからの挑戦日記」更新中。

将来に希望を見出すことが難しくなりつつある現代社会。誰かがいつの間にか明るい未来を創ってくれるなどということはありません。閉塞感に包まれたこの世の中を変えるには、まずは自分自身が変わること。行動すること。私はそう信じています。

